

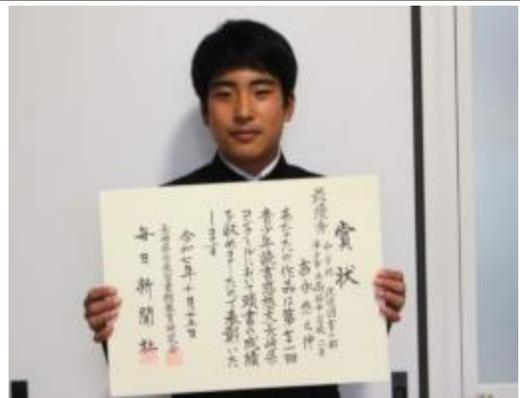
学校教育目標 「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」

校 訓 「自主・責任・規律・親和」 R8. 2. 27発行 文責 校長 本多 博

## 吉永 悠之伸さんが、読書感想文長崎県コンクールで最優秀賞を受賞しました！

第71回青少年感想文長崎県コンクールにおいて、平戸市代表として選出された吉永 悠之伸さんの作品『僕は食べる』が、「課題図書部」で、長崎県内で最も優れた作品に与えられる「最優秀賞」を見事受賞しました。

以下、悠之伸さんの作品の全文を掲載します。ぜひ、ご覧ください。



## 『僕は食べる』 南部中学校 2年 吉永 悠之伸

この夏、学校図書館で目にした中で一番心が動いた本。それが『わたしは食べるのが下手』だ。まず、題名にひかれた。なぜなら、僕は、食べるのが好きで、食べることを下手だと言う人に会ったことがないから。「食べるのが下手」な人ってどんな人なのだろう。興味がわいて読み始めた。

人前でご飯を食べるのが苦手な小林葵。過食と嘔吐を繰り返している遠藤咲子。この二人が出会うところから物語は始まる。二人それぞれの視点で語られる物語には、ほかに二人、インドネシアから来て文化の違いに悩むラマワティや給食大好きな浩平が登場する。会食恐怖症の葵と摂食障害の咲子が、悩みを抱えながら、どのようにして「今」を変えていくか。ラマワティや浩平のように、国や宗教、生活環境の違いから「給食」への思いが違う人々がどのようにして、「給食」と向き合うのか。読み進めていくうちに「給食」のとらえ方は、さまざまなのだと思えるようになった。

食べるのが好きな僕には、「給食」は一日のうちで一番楽しみな時間だと言ってもいい。ご飯やおかずが余ると、真っ先に手を挙げて「食べます」と言ってきた。時々、じゃんけんになることもあり、そうなると負けられない戦い、真剣勝負が始まる。これもまた楽しい。だから、つぎ分けられたご飯を「減らしてください」と言い出す人の気持ちはよく分からず、正直「なぜ食べないのか」と疑問に思うこともあった。

しかし、この小説を読み、葵や咲子、ラマワティや浩平の考えや思いを知ることによって、「食べる」ことは僕にとって普通のことだけれど、病気や心の問題、文化や社会の問題で悩み苦しんでいる人には、難しいことであると分かった。特に、四人の中では一番自分に近いと思えた浩平は、心の病を抱えて上手く働けない父とお腹に赤ちゃんのいる母、弟の面倒をみながら生きていた。浩平のように厳しい生活を送っている人には「給食」は命をつなぐもので、生きるための栄養を補う大切なものなのだと、改めて気づかされた。

裏面に続きます

この本に出会えたことで、今まで見てきたものは、独りよがりでも狭かったのだと実感できた。だから視野を広げて、これまでの給食時間を思い返してみた。すると浮かんできたのは、ご飯やおかずを減らしてほしいと伝える同級生の表情だ。どの人も申し訳なさそうに、お願いしていた。そんな表情にさせてしまうのは、学級だけでなく学校全体に、給食を食べないことが「悪い」ことだという空気があるのではないか。それは、今までは僕の中にもあった。食べることは僕にとって楽しいことで、幸せな時間だが、そう思っている人ばかりではないのだ。「給食」に対する思いはさまざまで、自分の考えを押し付けてはいけない。もっと他の人の心に寄り添うことが大切だと思うようになった。

「人は、生きるために食べる。生命維持のため。死なないために。でもそれだけじゃない。困難な状況にあって、それでもなんとか踏ん張るために、まずは、ものを食べる。みんなで力を合わせるために、分け合って食べる。それはたぶん、味とか栄養とかを超えた何か特別な価値を持つ、営み。」

これは、知らない土地で迷子になった葵たちが、地域の人に救助され、避難した人たちと公民館で、温かいお味噌汁を飲む場面での葵の言葉だ。この言葉で、何気なく食べていた学級での「給食」が特別なものに思えてきた。みんなで力を合わせるために、特別な価値を持つ営みとしての給食。そう思って、これから給食の時間を迎えれば、これまでも楽しくて幸せだった僕の時間がより豊かな時間になるのではないか。

この小説の最後には、「要望書」が添えられている。咲子、浩平、葵、ラマワティの連名で、給食の完食月間の廃止や、ハラール食の導入、その他として、お弁当を用意できない人のために給食制度の存続と相談窓口の設置などを呼び掛けている。

「要望書」を読んで、現在生徒会の副会長として活動している僕にもできることはないか、考えてみることにした。困っている人はどこにでもいて、それぞれに事情がある。そしてその事情は目に見えない。だから、自分とは違う考えをもった人の視点に立って物事を広く深く見ることが大切だ。まずは、アンケートから始めよう。困りごとを語りやすい雰囲気、僕たちから作っていこう。

これからも僕は食べる。学級のみならずと食べる時間をありがたく、幸せに思いながら。「特別な営み」を意識して、命をいただくこと、違う考えや思いを持つ人に寄り添うことを忘れずに。ぼくはこれからも食べ続ける。

### 3月の主な行事予定

- 5日(木) 公立高校一般選抜合格発表
- 11日(水) 3・11集会
- 12日(木) 公立高校チャレンジ選抜
- 13日(金) 卒業証書授与式
- 17日(火) 公立高校チャレンジ選抜合格発表
- 24日(火) 修了式・離任式



【日程は、変更となる可能性もあります。ご注意ください】